

1 お客さま・沿線の皆さまへのお願い



ホームや踏切道で緊急事態が発生した際は、列車を止めてください

【事故を防ぐために列車を停止させる設備】

- ① ホーム上での緊急時には、非常通報ボタンを押してください。
 - ・線路内に人が転落・侵入したとき
 - ・線路内に大きな荷物を落としたとき
- ② 踏切道内での緊急時には、非常ボタンを押してください。
 - ・踏切道内で車や人が立往生しているとき
 - ・踏切道内に大きな荷物が落ちていているとき

(詳細は P.14 「ホームの安全対策」、P.15 「踏切道の安全対策」をご参照ください)



車内で緊急事態が発生した際は、安全設備をご使用ください

【緊急事態の発生時に取扱うことができる設備】

- ① 非常通話装置 (車内)
 - ・乗務員と通話ができます。
- ② 非常通報装置 (車内)
 - ・フタを開けることで乗務員に異常を知らせます。
- ③ 消火器 (車内)
 - ・車内での火災発生時にご使用ください。
- ④ ホームドア非常用開ボタン
 - ・ホームドアが閉まっている場合にボタン操作により開けることができます。

(詳細は P.16 「車内の安全対策」をご参照ください)

緊急事態発生時の設備について

① 非常通話装置 (車内)



② 非常通報装置 (車内)



③ 消火器 (車内)

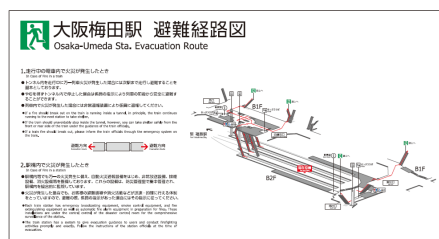


④ ホームドア非常用開ボタン



地下駅では避難経路図をご確認ください

地下駅のホームには「避難経路図」を掲示しています。火災等の異常時に備えて、あらかじめご確認をお願いいたします。また、トンネル内を走行中の列車で火災が発生した場合は、次駅まで走行し避難することを基本としています。やむを得ずトンネル内で停止した場合には、係員の指示に従ってください。



ホームでは黄色い点状ブロックの内側でお待ちください

線路側への接近は、列車との接触や線路内への転落につながるおそれがあります。ご通行の際も、黄色い点状ブロックの内側を歩いてください。また、点状ブロックは、目の不自由なお客さまのための大切な通路です。立ち止まったり、荷物を置いたりしないようにお願いいたします。





ホームには傾き(排水のための勾配)がありますのでご注意ください

ベビーカーや車いすは、ブレーキを確実におかけください。ベビーカーや車いすが線路側に動き始め、ホームから転落するおそれがあります。



駆け込み乗車は危険がいっぱいです

駆け込み乗車は、転倒や列車との接触などのおそれがあります。次の電車の利用をお願いいたします。



歩きスマホはとても危険です

スマートフォンや携帯電話などを操作しながらホーム上を歩かれると、ホームからの転落や他のお客さまとの衝突、接触による転倒などのおそれがありますのでおやめください。



ホームからものを落としても線路内へは絶対に立ち入らないでください

線路に誤ってものを落とした場合は、必ず駅係員にお知らせください。絶対に線路内には立ち入らないでください。



手の戸袋への吸い込みにご注意ください

ドアが開く際は、手をドアから離すようお願いいたします。手が戸袋へ吸い込まれ、ケガをする可能性があります。



「声かけ・見守り」にご協力をお願いします

目の不自由なお客さまに対して、声かけによる誘導案内や見守りによる安全確認などを実施しています。ご利用のお客さまには、目の不自由なお客さまを見かけられた際に「声かけ・見守り」のご協力をお願いいたします。



エスカレーターでは手すりにつかまり、立ち止まって
ご利用ください

エスカレーターをご利用のお客さまが、「つまづく」「転倒する」事象が発生しています。エスカレーターでは手すりにつかまり、ステップ上の黄色い線の内側に立ち止まってご利用ください。また、乗降口付近では立ち止まらずにお進みください。



共同マナーキャンペーンへのご理解・ご協力をお願いします

関西の鉄道事業者で 1994 年から実施している共同マナーキャンペーンは「みんなでつくる みんなの快適」をコンセプトに実施しています。

駅や車内でのマナー向上は鉄道事業者共通の願いです。日頃から各社局それぞれでマナー向上に取り組んでいますが、より多くのお客さまにご理解・ご協力いただくために、19 社局が連携してポスターを掲出しています。





優先座席を必要とされる方におゆずりください

各車両に優先座席を設けております。お年寄り、妊娠中や小さなお子さま連れの方、お身体の不自由な方など、優先座席を必要とされる方に座席をおゆずりください。



ヘルプマークを見かけられましたら思いやりのある行動をお願いします

ヘルプマークとは、義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるためのマークです。

このマークを付けている方を見かけられましたら、声をかける、座席をおゆずりいただくなどの配慮をお願いします。



2

親しみを持っていただける鉄道を目指して

●「鉄道の日はんしんまつり 2024」を開催

地域の皆さまに阪神電車に親しんでいただくために毎年開催している「はんしんまつり」は、2024年11月9日(土)に尼崎車庫及び尼崎城址公園会場の2か所で開催いたしました。

尼崎車庫会場では毎回好評のミニ阪神電車の乗車体験や車掌体験、洗車機通過体験や電車と綱引き体験などの体験型イベントを、尼崎城址公園会場ではお子様に好評のレールトイ展示や雪あそび広場を開催しました。



電車と綱引き体験の様子

●絵画コンクール「ぼくとわたしの阪神電車&環境にやさしい阪神電車」を実施

本コンクールは、子どもたちが絵に親しむ機会を提供するとともに、絵を描くきっかけとして、もっと阪神電車に親しんでもらえるよう実施しています。20回目となる2024年度は3,774点の作品を応募いただきました。第20回記念として「環境にやさしい阪神電車」をテーマに加え、「ぼくとわたしの阪神電車&環境にやさしい阪神電車」として開催し、柔軟で自由な発想で、「夢いっぱい、優しさいっぱいの阪神電車」を描いていただきました。

大賞、準大賞作品を阪神電車の車内吊りポスターとして掲出したほか、全受賞作品を当社ウェブサイトなどで紹介しました。



2024年度大賞作品

●小学校への出前授業

電車を安全にご利用いただくために、沿線の小学校に駅長が
出向き、阪神電車の歴史や電車の仕組み、鉄道に携わる駅員や
乗務員、保守係員の仕事、鉄道利用時のマナーなどについて出
前授業を行っています。2024 年度は 16 校で開催しました。



出前授業の様子

●沿線の新小学1年生に「電車のマナーを守ろう!」 下敷きを贈呈

2008 年春から、沿線の子どもたちの小学校への入学祝いとして
「阪神電車オリジナル下敷き」を贈呈しており、2025 年春で累計約
30 万枚になりました。

電車のマナーについて、良い例、悪い例、そして困っている人など
をイラストで描くことで、子どもたちが楽しみながら学べる内容と
なっています。



阪神電車オリジナル下敷き

●新型急行車両 3000 系について

2027 年春に新型急行車両 3000 系を導入します。エクステリ
アカラーは、当社の急行車両として長年愛されてきた「赤胴車」の
イメージを受け継ぐ「Re Vermillion(リ・バーミリオン)」とします。



新型急行車両 3000 系 (イメージパース)

安全報告書の内容や当社の安全に対する取
組みについてのご意見等につきましては、下記
のホームページ内の「お問合せ」サイトでお伺い
しています。

阪神電気鉄道ホームページ

<https://www.hanshin.co.jp/>

※ ホームページ画面下の「お問合せ」から、ご意見等をお寄せください。

阪神アプリ 配信中!

- ・ Android9.0 以降、iOS12.0 以降が対応OSとなります。
- ・ 利用料は無料です。

ただし、ダウンロードやご利用時にかかる通信料はお客さまのご負担となります。

阪神アプリのダウンロードはこちらから ↓

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

遅延・運休情報を
プッシュ通知で
タイムリーにお知らせ!



Android



iPhone